

## 1 利用の承認等に関する業務

### ● 来館者数の動向

10月から12月までの来館者数は21,963人だった。

昨年度と比較すると、第1四半期・第2四半期で増加した来館者数が各月ともに減少している。これは、薔薇の開花期である10月週末に2週連続で台風の襲来に見舞われたこと、11月は雨天が多かったこと、12月は例年に比べて気温の低い日が続き寒さが厳しかったことという天候が大きく影響していると思われる。しかしながら、巷の文豪ブームに合わせ10-30歳代女性をターゲットとした特別展の開催やSNSによる発信で来館の動機付けやリピーター獲得に向けた広報活動を積極的に行い、またハロウィンやクリスマス等のイベントに合わせた展示企画の実施により、天候に左右されない来館者獲得に向け取り組むことで前指定管理期間比約9%強の減少に留められたと考えられる。

## 2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

### ● 施設・設備

天候不順な日が多かったが、各業務とも計画通り行われた。

### ● 文学館資料

- ・収蔵庫内の温湿度管理が適切に行われている。
- ・文学館資料の特別利用については適切な事務処理が行われている。(4件)
- ・収蔵図書の閲覧、文学に関するレファレンスが適切に行われた。(閲覧2件、レファレンス7件)

## 3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

### ● 展覧会

事業計画どおり、特別展及び常設展を開催された。

- ・特別展「リスペクト好き、好き、大好き」
- ・特別展「作家と歩く鎌倉 その2(由比ガ浜・材木座方面)」
- ・常設展のミニ特集として、生誕110年「高見順」、生誕150年「芳賀矢一」を取り上げた。

### ● 普及事業

事業計画通り、文学講座「高浜虚子と星野立子」及び「芥川龍之介の大正5年」、文学散歩「北鎌倉周辺」、文学館フェスティバル「秋の文学スタンプラリー」、「第6回鎌倉文学館こども文学賞」、「テラスコンサート」及び「朗読ワークショップ」を実施した。他に、江ノフェスに参加し「高橋三雄カルテットジャズコンサート」、「牧野竜太郎カルテットコンサート」及び「ヴァイオリン&ピアノのコンサート」のイベントを開催した。また、11月にはこの他、三島由紀夫文学館前館長を招き古典講座「三島由紀夫と古典」を開催するなど精力的に普及事業を行った。

10月には、市内中学生のインターンシップ受け入れを行い通常の観覧では得られない裏方作業を体験することで文学に多面的に親しむ機会を提供した。

### ● その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

- ・市内在住の童話作家 角野栄子さんが自身の作品を朗読する「おはなし会 角野栄子先生」を11月に実施した。
- ・文学館フェスティバル「言葉と音楽のコンサート」、「ばらの解説」を実施した。
- ・川端康成記念会と共催で、「文学館フェスティバル 川端康成邸 秋の庭園公開」と題した文学館での小講座及びDVD「川端康成の美の世界」を視聴後に川端康成邸庭園見学を実施した。

## 4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

### ● 収集、保存、整理

- ・市職員の立会の元、収蔵品の適切な保存、整理及び資料等の所在の確認を行った。
- ・文学館資料の購入及び購入に係る事務手続を適切に行った(図書75点、筆跡資料5点)。

## 5 その他市長が定める業務

### ● 文学館資料の調査及び研究

・特別展「リスペクト好き、好き、大好き」の図録を作製し、頒布した。

### ● 事務処理

・月次指定管理業務報告書等は期日までに提出された(10月分:11月14日、11月分:12月14日、12月分:1月12日)。

・展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。

・市広報紙に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。

・市モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に周知を行った。

### ● その他

・雑誌、テレビの取材及びラジオ出演等のメディア対応を積極的に行った。

・市内のみならず県内外の学校や行政、各種団体の視察等に対応した。

・警備員教育(2名)を行い、施設の安全管理体制の充実を図った。

・11月23日～12月1日まで全来館者調査を行い、来館者数及び市内在住来館者数の把握に努めた。

## 6 全体評価

・特別展「リスペクト好き、好き、大好き」は来館意欲を湧かせるようなインパクトのある配色のチラシやSNSによる積極的な広報活動を行うとともに、10～30歳代女性の興味を引き出すような工夫度の高い展示が出来ていた。

・来館者数は、10月の2週連続台風襲来や11月に雨天が続いたことにより、前年度の同時期及び第1四半期を割り込む結果となった。しかしながら、若年層をターゲットにしたtwitterによる情報の着信者数は40万人で前年9万人を大きく上回っており、クリスマスイベント展示を目的として来館するリピーターも増加していると考えられることから、今後も時宜を捉え、来館者の心をつかむ企画実施が望まれる。

・多くの普及活動事業、文学館フェスティバル、江ノフェス参加イベント等を実施し、つつがなく終了している。

・施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行い、施設・設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。

# 判定評価

評価項目	配点	第3四半期 評価結果	減点
<b>1 利用の承認等に関する業務</b>			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
<b>2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務</b>			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
<b>3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務</b>			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
<b>4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務</b>			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができているか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
<b>5 その他市長が定める業務等</b>			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
<b>減点の計</b>			<b>0</b>

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%